

ドイツ文学

| | | |
|-----|-----|-------------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 1年次 | 前学期 | 渡邊 徳明（ドイツ語） |

| | |
|--------------------------|--|
| 学修目標 (GIO) | <p>テーマ： 毒々しい独文学</p> <p>ドイツ文学といえば、ゲーテやトーマス・マン、ヘッセなどを思い浮かべるかもしれない。これらの作家は人間の成長や社会の中での役割を問題とした作品を数多く残した。そこには人間性に対する肯定的な視点がある。</p> <p>けれども、ドイツ文学には別の特徴もある。ときに多分にアイロニカルな(皮肉な)視点が含まれていることである。いや、むしろ「残酷な」と言った方が正確であるかもしれない。特にドイツの映画を見ているとそのような場面が多いような印象を受ける。</p> <p>言い換えれば登場人物を突き放して描く手法である。決して心温まる展開にはならないそれらの作品が意外にも人気を博しているのは、そういったものの中に人々が密かに自分の心の中に抱えている闇が表現されているからではないか。</p> <p>心の闇はキリスト教の伝統においては悪魔として表現され、また19世紀末以降にフロイトが開拓した精神分析学の伝統においては無意識における情動として理解された。本授業ではそのような「心の闇」が文学作品の中でどのように表現されているのかについて共に考えてゆきたい。</p> |
| 担当教員 | 渡邊 徳明 |
| 教科書 | なし |
| 評価方法 (EV) | 定期試験は実施しません。授業での参加状況などによる平常点(40パーセント)、最終レポート(60パーセント)にて評価します。ただしこの比重は目安です。レポートは授業で扱った作品、もしくは担当教員が推薦する授業関連の作品の一つ選択して、それを読んで内容要約と感想・解釈を書いてもらう、というものを想定しています。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 出席を重視します。文学や歴史についての予備知識は特に求めません。適宜、画像や映像なども取り入れ視覚・聴覚的にヨーロッパ文化に親んでもらえればと思います。またこの授業を通じて、一冊で良いですから気に入った文学作品を見つけてもらえればと思います。知識の習得よりも、文学作品をどのように鑑賞するか、という方法・態度をみんなで考えてゆく、という授業にしたいと思います。なお、授業前にシラバスをよく読んでおいてください。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--|------------------|---|-------|
| 2016/04/12 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2016/04/12 (火) 1時限 09:00~10:30 B | 授業についての全体的説明 | <p>【授業の一般目標】 ドイツ文学のスパイスとも言えるアイロニカルな視点について理解する。感情移入しながら作品を読む姿勢に対し、登場人物と距離を置くのがアイロニカルな視点である。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/04/19 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2016/04/19 (火) 1時限 09:00~10:30 B | グリム・メルヘンの嗜虐的描写 | <p>【授業の一般目標】 いわゆる童話として知られるグリム・メルヘンであるが、随分と残酷な描写も少なくない。それをどのように理解すべきなのであろうか。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 配布物に目を通してくる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/04/26 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2016/04/26 (火) | ヨーロッパ中世における悪魔の表象 | <p>【授業の一般目標】 キリスト教がヨーロッパに根付いてゆく過程で、その教えに逸脱する存在は悪魔としてイメージ化されてゆく。それは宗教的教義のみではカバーできぬ心の闇を可視化する存在でもあろう。</p> | 渡邊 徳明 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--|------------------|---|-------|
| 1時限 09:00～10:30 B | ヨーロッパ中世における悪魔の表象 | <p>【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/05/10（火） 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/10（火） 1時限 09:00～10:30 B | 「ニーベルンゲンの歌」 | <p>【授業の一般目標】 13世紀に書かれたいわゆる英雄叙事詩で、当時の宮廷文学の一つでありながら、残忍でシニカルな描写も散見される。その筆致に迫る。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/05/17（火） 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/17（火） 1時限 09:00～10:30 B | 「ハーメルンの笛吹き男」 | <p>【授業の一般目標】 中世ドイツのハーメルンの街で、子供たちが集団で「笛吹き男」の笛の音に誘われて山の中へと入って行き、二度と帰ってこなかった・・・。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/05/24（火） 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/24（火） 1時限 09:00～10:30 B | 「吸血鬼ノスフェラートウ」 | <p>【授業の一般目標】 ドイツ無声映画の傑作。いわゆるドラキュラ伯爵。ホラーの先駆的作品だが、初期の映画の素朴さと、表現主義的人物描写・世界観に裏打ちされた芸術性の高さに注目したい。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/05/31（火） 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/31（火） 1時限 09:00～10:30 B | ゲーテ「若きウェルテルの悩み」 | <p>【授業の一般目標】 この小説を本授業のラインナップに加えるのは違和感があるかもしれないが、恋の世界に没入する青年ウェルテルの内面世界に対し、それを冷やかに突き放す現実的な客観描写が作品後半部でなされている。それは近代小説特有の反省的視点であり、ある種の毒々しさを感じられよう。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> | 渡邊 徳明 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--|------------------|--|-------|
| 2016/05/31 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/31 (火) 1時限 09:00～10:30 B | ゲーテ「若きウェルテルの悩み」 | 【場所（教室/実習室）】 403教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】 | 渡邊 徳明 |
| 2016/06/07 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/07 (火) 1時限 09:00～10:30 B | ホフマン「砂男」 | 【授業の一般目標】 主人公の少年は、夕飯の時刻に家に訪ねて来る父の客人が、子供の目に砂をまいて眠らせる砂男であると聞かされて、その正体を確かめようとする。客は弁護士コッペリウス。客は父と錬金術を駆使して人工生命を作ろうとしているのであり、そのために少年の目を必要とする……。現実と妄想の交差に注目したい。 【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 403教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】 | 渡邊 徳明 |
| 2016/06/14 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/14 (火) 1時限 09:00～10:30 B | カフカ「変身」 | 【授業の一般目標】 グレゴール・ザムザはある朝目覚めると巨大な虫になっていた。平凡な日常に突如おとづれた異変に対し、なぜか本人も家族もその事態をやむなく受け入れる不気味さ。 【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 403教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】 | 渡邊 徳明 |
| 2016/06/21 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/21 (火) 1時限 09:00～10:30 B | トーマス・マン「ヴェニスに死す」 | 【授業の一般目標】 貴族にまで列せられたドイツの国民的作家は、イタリアの水の都ヴェニスに滞在する。彼がポーランド貴族の少年に恋をし命を落とすまでの、ある意味で喜劇的と言えるかもしれない悲劇。 【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 403教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】 | 渡邊 徳明 |
| 2016/06/28 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/28 (火) 1時限 09:00～10:30 B | 「嘆きの天使」 | 【授業の一般目標】 マレーネ・ディートリヒの歌とともに世界的に有名になった白黒映画である。ギムナージウム(高等学校)の教授が旅の一座の踊り子と結婚して、やがて役立たずと侮辱されてゆく。 【行動目標（SBOs）】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 403教室 【国家試験出題基準（主）】 【コアカリキュラム】 | 渡邊 徳明 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--|-------------------|---|-------|
| 2016/07/05 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/07/05 (火) 1時限 09:00～10:30 B | ギンター・グラス「ブリキの太鼓」 | <p>【授業の一般目標】 3歳の誕生日に成長を止めたオスカルのお話。ドイツ文学の伝統のひとつに主人公の成長を描く教養小説というジャンルがあるが、その流れに見事に逆行する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/07/12 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/07/12 (火) 1時限 09:00～10:30 B | ギンター・グラス「ブリキの太鼓」 | <p>【授業の一般目標】 「ブリキの太鼓」の映画を見る。オスカルが金切り声を上げて泣き叫ぶとガラスが割れる場面は有名で他作品でパロディー化されている。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/07/19 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/07/19 (火) 1時限 09:00～10:30 B | ヘッセ『車輪の下』 | <p>【授業の一般目標】 既に挙げたゲーテの『若きウェルテルの悩み』同様に、その文体は柔らかく、また主人公の少年へのやさしい眼差しが感じられようが、しかし青年期に彼が登らねばならない階段は、彼を冷やかに突き放して行く。その内面的・社会的挫折はウェルテルの場合とも少し似ていて、やはりここでも作家はその痛ましい挫折を客観視する立場をあくまで崩さない。そこに本講義のテーマとする「毒々しさ」を見出してみよう。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |
| 2016/09/06 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2016/09/06 (火) 1時限 09:00～10:30 B | ドイツ文化における「不気味なもの」 | <p>【授業の一般目標】 日常の中に突如あらわれる非日常的世界。自分の立場を次の瞬間に客観視する場面展開。理論的には把握しきれない闇の世界。ドイツ文学における、これらの描写について振り返る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目】 シラバス・配布物を読んでくる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 渡邊 徳明 |